

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業  
報告シート

栃木県

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制  
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。  
主担当課は最上段にご記入ください。

	担当課名	主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載	人数				計	
			事務職	保健師	リハ 専門職	その他		
介護 予防 事業	高齢対策課		1	1 ◎			2	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
						0		
モ デ ル 事 業	高齢対策課		1	1 ◎			2	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
						0		

②連携体制  
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

	(連携先の例)	実施内容	課題	次年度への対応
庁内 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防主担当課以外の課、保健所</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域健康福祉センター福祉指導課（保健所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会に参加するが、管内市町の介護予防の取り組みへの関与は困難。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管轄市町の取組みの情報提供の継続。</li> </ul>
職種 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職、保健師、リハ職</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県から新たに連携を図った職種はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに、リハビリテーション専門職等との連携を希望する地域がなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハビリテーション専門職との連携で事業効果が上がった取組み状況の情報提供。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域リハビリテーション広域支援センター</li> <li>職能団体</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語聴覚士協会の研修会での講話</li> <li>3療法士合同の研修会での講話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハビリテーション専門職としても地域活動に参加の意思はあるが、どのような役割を求められているのか、伝えていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3療法士合同での研修会への参加・支援を継続</li> </ul>

③第6期介護保険事業支援計画  
第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

- ・「地域づくりによる介護予防推進支援事業」の活用し、市町や高齢者自身が積極的に参加・運営する通いの場の充実などを図るための取組みが広がるよう、市町や事業者、県民への周知に努める。
- ・リハビリテーション専門職の活用を促進し、地域における高齢者等の自立支援に向けた介護予防の取組みの支援。
- ・地区組織等と連携し、効果的な介護予防の実施を推進。

## 2. 市町村支援の実施状況

### ①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
地域診断、戦略策定の支援	地域包括支援センターと共に情報収集し、地域診断を行っていた。 また、改善したい（させたい）という課題も抽出していたため、その課題の改善に向けた戦略立案を支援した。	地域包括支援センター・市町担当職で地域診断し課題を共有する課程を経て、地域住民への働きかけが必要である。 この2機関が協働して、地域診断・計画立案が困難な市町もあり、協働で取り組みことの重要性に気付いてもらう必要がある。	地域包括支援センターでも行政職でも地域診断を実施して地域の課題を整理する。	◎	地域分析に必要性を感じていても、実施できない（しない）市町もあること。
研修会、現地支援	モデル実施地域の民生委員等の関係者にも参加を呼びかけ、職種を分けずに関心のある方が参加した。 研修会については、県内市町の介護予防担当者にも周知して、オープン参加とした。	事業に取り組み続けるのは地域住民で有り、地域住民が「やりたい・つづけたい」と思える働きかけができる人材育成。 住民の「やってみたい」の声を待ち続けること。	実施希望の市町に対して対応。（複数市町が取り組み予定）。 実施希望の市町の担当者が、住民に事業説明を行う際の資料作成を検討。	○	資料にとらわれず、地域の課題や様子なども踏まえた資料も取り入れる必要がある。
その他					

### ②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

#### ②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

実施日	研修会名称	対象者	参加市町村数
H27.2.2	介護予防担当職員等研修会	市町介護予防担当者・地域包括支援センター職員	23

#### ②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題

## 3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

小山市で実施していた地域診断を再度確認し、本モデル事業の目的や、取り組める内容は何かを市担当者と県・アドバイザーで共有て、戦略を練った。

その結果、新たに事業に取り組むのではなく、地域の現状や、住民自身が抱く将来への不安など、地域住民の思いに寄り添い、事業の取組みを紹介したことで「やってみよう」の気持ちを育み、通いの場の立上げる計画を立てたが、短期間で住民主体の運営の通いの場（グループ）を立ち上げることは、市担当者の参加しやすい環境を整備の介入なしには困難であった。

しかしながら、研修会から参加していた住民からの「自分のグループで取組みたい」との要望があり、モデル事業のとおり「住民主体の通いの場」が立ち会ったことは、大きな成果と言える。

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業  
報告シート

群馬県

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制  
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。  
主担当課は最上段にご記入ください。

	担当課名	主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載	人数				計	
			事務職	保健師	リハ 専門職	その他		
介護 予防 事業	介護高齢課		1	2			3	←主担当に◎を選択してください。
			◎				0	
							0	
							0	
モ デ ル 事 業	介護高齢課		1	2			3	←主担当に◎を選択してください。
							0	
							0	
							0	

②連携体制  
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

	(連携先の例)	実施内容	課題	次年度への対応
庁内 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防主担当課以外の課、保健所</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管轄の保健福祉事務所に対してモデル事業の取り組みについての情報提供をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供のみで具体的にどのように関与してもらおうか検討するまでには至らなかった。</li> </ul>	
職種 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職、保健師、リハ職</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅保健師の会の会長が本県の密着アドバイザーである。モデル町OB在宅保健師（介護予防サポーター）の方にも事業に参加してもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>邑楽町では27年度も引き続き参加してもらえ見込み、他の市町村への広がること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>27年度3市町でモデル事業参加意向があるので、在宅保健師の会と相談する。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域リハビリテーション広域支援センター</li> <li>職能団体</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村が介護予防サポーターを養成する際、地域リハ広域支援センターが講師等で協力している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポーター養成への協力から一歩進んで通いの場での活動のところにも関与を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域リハ協議会で提案</li> </ul>

③第6期介護保険事業支援計画  
第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

- リハビリテーション専門職等を活かした介護予防の機能強化、住民運営の通いの場の充実、高齢者の社会参加を通じた介護予防の推進という方向性のもとで、市町村における介護予防事業への取組を積極的に支援するとともに、介護予防に関する普及啓発や地域リハビリテーションの充実を図ります。
- 市町村において、各地域の実情に応じた生活支援サービス体制を整備し、多様な担い手による多様なサービスが提供等が行えるよう支援します。

## 2. 市町村支援の実施状況

### ①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
地域診断、戦略策定の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザー合同会議の内容を伝達し、地域診断等を依頼した。</li> <li>研修会の午後の部で町担当者からワークシートを用いた地域診断等の説明を受け、町職員、アドバイザーを中心に検討を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>27年度は3市町村がモデル事業に参加を表明している。アドバイザー、県職員も一緒に検討する。</li> </ul>	○	
研修会、現地支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会はモデル町のみを対象とし、午前中は広域アドバイザーによる動機付けの講演を行い、町内関係者が参加、午後はコアメンバーによる検討を行った。</li> <li>現地支援の1回目は、通いの場の立ち上げ時で、密着アドバイザーが支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会は参加しない市町村も含め全市町村を対象に行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会については、3市町だけでなく全市町村を対象とし、邑楽町の成果等を踏まえた意見交換も入れる。</li> </ul>	◎	
その他					

### ②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

#### ②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

実施日	研修会名称	対象者	参加市町村数
11月25日	生活支援・介護予防の体制整備に係る検討会（直営）	市町村介護予防等担当職員、地域包括支援センター職員	
1月25日、2月8日	口腔機能維持向上研修会（県歯科医師会に委託）	市町村介護予防担当、通所介護職員、通所リハ職員	
2月22日	介護予防「運動器の機能向上」に関する研修会（県理学療法士協会に委託）	市町村介護予防担当、通所介護職員、通所リハ職員	

#### ②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
地域リハ事業（委託（一部直営））	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村が実施する介護予防サポーター養成研修に講師派遣等の協力を行う。</li> <li>市町村が行う介護予防普及啓発イベントに出展する等の協力を行う。</li> <li>リハ職やサポーター向けの研修を開催</li> <li>施設等に対するリハの実地指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハ専門職が通所、訪問、地域ケア会議、住民運営の通いの場等に積極的に関与し、効果的な助言を行えるよう、地域リハ協議会等で検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村が実施する介護予防サポーター養成研修に講師派遣等の協力を行う。</li> <li>市町村が行う介護予防普及啓発イベントに出展する等の協力を行う。</li> <li>リハ職やサポーター向けの研修を開催</li> <li>施設等に対するリハの実地指導</li> </ul>	◎	

### 3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

#### 成果

- 広域アドバイザーの講演が動機付けに繋がった。
- 密着アドバイザーが無償で何度もモデル町に行って町の担当者を支えてくれた。
- 町の担当者が、事業の意味（週1回効果的な体操をする、元気高齢者だけの活動にしない、お金をかけない、行政が手を出し過ぎない、住民運営）を理解し、積極的に進めてくれた。
- 地域のキーマンが乗り気になってくれた。 介護予防サポーター（民生委員、町OB在宅保健師）
- 通いの場の人達が自主的に熱心に取り組んでくれた。

#### 感想

- 町の担当者、地域のキーマン、住民の力を感ずることができた。
- 県担当としては、町の担当者やアドバイザーにお願いをするばかりであったが、皆さんの頑張りでうまく進んでいる。次年度は県として取り組みが他市町村にも広がるように、住民主体の通いの場の拡充等をテーマに県内全市町村職員を対象とした研修会を開催する等、進めていきたい。

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業  
報告シート

埼玉県

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制  
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。  
主担当課は最上段にご記入ください。

	担当課名	主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載	人数				計	
			事務職	保健師	リハ 専門職	その他		
介護 予防 事業	福祉部高齢介護課		3				3	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
						0		
モ デ ル 事 業	福祉部高齢介護課		3				3	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
						0		

②連携体制  
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

	(連携先の例)	実施内容	課題	次年度への対応
庁内 連携	・介護予防主担当課以外の課、保健所 ・その他	特になし		
職種 連携	・事務職、保健師、リハ職 ・その他	リハビリテーション専門職と連携し、戦略策定や現地支援を実施。		引き続き連携し、モデル自治体への支援を進める。
その他	・地域リハビリテーション広域支援センター ・職能団体 ・その他	県理学療法士会の理学療法士による現地支援。		引き続き連携し、モデル自治体への支援を進める。

③第6期介護保険事業支援計画  
第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

【埼玉県高齢者支援計画】  
◆介護予防の推進  
・要介護状態の発生をできる限り防ぐとともに、要介護状態にあってもその悪化をできる限り防ぎ、更には軽減を目指して介護予防を推進します。  
・具体的には、高齢者が地域においてできる限り自立した日常生活を営めるよう、住民主体の通いの場づくりの促進や多くの高齢者が参加できる取組事例の紹介など、市町村が実施する介護予防事業の取組を支援します。

## 2. 市町村支援の実施状況

### ①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
地域診断、戦略策定の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>通いの場立ち上げの前に、現在モデル町内で行われている体操教室を視察し、戦略を検討するために町と事業イメージや現状を共有しながら進めた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>27年度のモデル自治体に対し、アドバイザーと協力しながら地域診断や戦略策定を支援していく。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県は支援対象団体が多い（市町村数63市町村）ため、27年度5団体の事業参加では普及が進まない恐れがある。</li> <li>そのため、26年度のモデル事業参加で得られたノウハウを活用し、国事業参加に加え県独自の支援策を検討・実施していく。</li> </ul>
研修会、現地支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民向け説明会や体操教室、介護予防サポーター養成講座に同席し、連携しながら事業を進めた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>27年度のモデル自治体に対し、都道府県研修や現地支援を実施していく。</li> <li>現地支援は、都道府県密着アドバイザーに加えて「市町村密着アドバイザー（仮称）」を県独自に設けてより細かな相談・助言を行う。</li> </ul>	◎	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル事業の成果を他市町村に普及拡大するための成果報告会を実施した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、住民主体の介護予防の取組を県内市町村に普及拡大させる。</li> </ul>	◎	

### ②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

#### ②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

実施日	研修会名称	対象者	参加市町村数
H26.7.31	体験型介護予防研修	県内市町村の介護予防事業担当者、地域包括支援センター職員	63
H26.9.18	介護予防事業市町村担当職員等研修	県内市町村の介護予防事業担当者、地域包括支援センター職員	54
H27.1.19	地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業成果報告会	県内市町村の介護予防事業担当者	58

#### ②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆介護予防普及促進事業</li> <li>・先進事例の紹介やグループワーク等の研修を実施。</li> <li>・市町村間の連携強化のため、各福祉事務所圏域で地域の実情に応じた研修会や意見交換会を実施。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆介護予防普及促進事業</li> <li>・先進事例の紹介やグループワーク等の研修やブロックごとの情報交換会を実施。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村に効果的な介護予防事業の必要性を理解してもらうことが重要と考える。</li> <li>県が抱える人口構成などの課題を引き続き説明し、市町村と課題や今後の介護予防事業の方向性を共有し、市町村が地域で説明できるように、研修や情報交換会の内容を工夫していく必要がある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体験型介護予防研修事業</li> <li>・魅力的な介護予防事業が企画・運営されるよう、先進的な介護予防事業を体験できる研修を実施。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体験型介護予防研修事業</li> <li>・魅力的な介護予防事業が企画・運営されるよう、先進的な介護予防事業を体験できる研修を実施。</li> </ul>	◎	

### 3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

- 埼玉県は75歳以上高齢者の増加率が今後全国1位となる見込みであり、継続的かつ効果的な介護予防事業に転換していく必要がある。
- こうした課題を抱える中で、地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業に参加し、県においても事業展開上の課題や解決策、事業実施のスケジュール、事業展開手法などのノウハウを蓄積することができた。
- 手探りでの事業実施であったが、広域アドバイザー、都道府県密着アドバイザー、モデル自治体である毛呂山町担当職員など多くの方々の力により、住民主体の通いの場の立ち上げ、拡大という「成功体験」を得ることができた。
- 本事業を通じて得たノウハウや成功体験は、今後、市町村支援を行う上で貴重であると思う。
- 27年度以降も、県内市町村で効果的な介護予防事業が展開されるよう支援し、住み慣れた街でいつまでも暮らし続けることができる埼玉県を目指したい。

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業  
報告シート

千葉県

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制  
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。  
主担当課は最上段にご記入ください。

	担当課名	主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載	人数				計	
			事務職	保健師	リハ 専門職	その他		
介護 予防 事業	保険指導課介護保険研修班			2 ◎			2	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
						0		
モ デ ル 事 業	保険指導課介護保険研修班			2 ◎			2	←主担当に◎を選択してください。
						0		
						0		
						0		

②連携体制  
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

	(連携先の例)	実施内容	課題	次年度への対応
庁内 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防主担当課以外の課、保健所</li> <li>その他</li> </ul>	健康づくり支援課に情報提供。リハビリ専門職の協力等について協議。	介護保険担当以外の課との連携	地域リハビリテーション広域支援センター等のリハビリ専門職の協力が得られるように連絡調整等の実施
職種 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職、保健師、リハ職</li> <li>その他</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域リハビリテーション広域支援センター</li> <li>職能団体</li> <li>その他</li> </ul>	千葉県理学療法士会にリハビリ専門職の協力について依頼し、研修会への参加を働きかける	市町村事業に理解のあるリハビリ専門職と、市町村担当者との顔の見える関係を作ること	研修会等の機会をとおして、顔の見える関係づくりを働きかける。

③第6期介護保険事業支援計画  
第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

## 2. 市町村支援の実施状況

### ①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
地域診断、戦略策定の支援	地域診断については、必要に応じて事業と同時進行で実施していただくこととした。	「どういう地域づくりをしたいか」を最初に考えていただき、アドバイザーも交えて打ち合わせをする機会を設けたほうが、事業展開がスムーズにいくと思われる。 市町村担当だけではなく、県担当も地域の状況をよく把握することが、アドバイザーからの支援を調整する際に必要	3月末にモデル事業参加市町を決定予定。具体的な内容はその後の打ち合わせにより検討する	○	
研修会、現地支援	研修会 7月30日に1回実施 現地支援 5市町のうち希望により4市町で実施	現地支援の日程調整が困難だった。 27年度の現地支援の方法、内容については要検討検討。	3月末にモデル事業参加市町を決定予定。具体的な内容はその後の打ち合わせにより検討する	○	
その他	視察 広域支援アドバイザーが実際に活動している印西市を各市町村担当者が視察		3月末にモデル事業参加市町を決定予定。具体的な内容はその後の打ち合わせにより検討する	○	

### ②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

#### ②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

実施日	研修会名称	対象者	参加市町村数
平成26年7月30日	平成26年度第1回介護予防事業従事者研修	市町村職員	17
平成27年2月18日	平成26年度第2回介護予防事業従事者研修	市町村職員（介護部門・保健部門）、地域包括支援センター職員、リハビリ専門職	32

#### ②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

	平成26年度実施内容		平成27年度以降		
	実施内容	今後の課題	今後の実施予定	優先度	実施する上での課題
			3月末に参加市町が決定してから検討	○	モデル事業に参加しない が、市町村独自で「いきいき百歳体操」に取り組む場合の情報提供の方法や進捗状況の把握等についてどう対応していくべきか

### 3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

モデル事業として7月に研修会を行い、「地域づくりによる介護予防事業」について周知をしました。5市町すべてが「住民主体によるいきいき百歳体操」に取り組んだが、その後の実践方法は各市町により全く異なっていました。それぞれの地域性に合わせた活動が必要であり、日頃から地域の状況をよく把握している担当者だからこそできる事業だと実感しました。

それぞれの市町が何に困っているのか、どういう地域づくりをしたいのか、どういった人達と活動しているかなどについて、初期に打ち合わせをもっとしておけばよかった等の反省は多々あります。反省点は27年度に生かせるようにしたいと思います。

取り組み当初は、「本当にうまくいくのか」と心配でしたが、参加した5市町でそれぞれの活動が展開していくのを見ていくうちに、「千葉県でもできる」と自信を持つことができました。それぞれの地域づくりの過程を見せて下さった市町担当者に感謝しております。市町担当者だけでなく、県担当者までも支援して下さいました広域支援アドバイザーと地域密着アドバイザーにも感謝しております。

事業では、各市町村担当者が「地域づくり」をしながら介護予防事業を展開する過程をみることができ、非常に勉強になりました。また、事業をとおして「住民の力」をみることができ、行政が主導しなくても、住民だけでこんなに色々なことが進んでいくのか、と驚くこともたくさんありました。どの市町でも、住民が担当者を信頼している様子が見えました。普段からの丁寧な活動が、事業の成功に結び付いていると思います。